

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人友の会	代表者	大 島 泰雅	法人・事業所の 特徴	八戸市の中心街である長根公園の向かいにあり、自然が豊かであるため四季を感じながら過ごす事が出来ます。個々の意向に合わせて通いサービス、訪問サービス、宿泊サービスを柔軟に組み合わせ利用する事で在宅での生活が継続出来るよう支援しています。また、町内会への加入や地域行事への参加も積極的に行っています。
事業所名	小規模多機能ホーム 長根の森	管理者	武石 栄伸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	高齢者支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 (文書) 人	2 (文書) 人	4 (文書) 人	0 人	0 人	1 (文書) 人	0 人	2 人	0 人	10 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	管理者・主任を中心に、意見を出しやすい環境作りを行う。業務にとらわれるのではなく、利用者の事を考えた計画を実行していく。	意見が出やすい環境になっている。その中で自分たちの日々の関わりについての振り返りが出来るようになってきている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の事を中心に考えて計画されており、大変いいと思います。</li> <li>・補足文もあり分かりやすい。</li> </ul>	前回の目標を継続し、月に1回のケア会議時に計画の振り返りを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	普段の掃除に加えて、感染防止のための消毒を午前1回、各食事前1回、午後1回、夜間1回と、時間を決めて行っていく。	決められた時間の消毒は行えており、定時以外にも気になった場合は消毒・清掃を行うことが出来ている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きめ細やかな消毒・清掃ができており、大変いいと思います。</li> <li>・パーティションが設置され、工夫が感じられます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の計画を継続する。</li> <li>・接遇面で、虐待・身体拘束に繋がりにくい対応を行わないように全職員で取り組む。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	事業所での活動内容が分かりやすいような広報作成を行い、ホームページでも、こまめに発信していく。地域活動は、職員が偏らないように調整を行い参加していく。	個人情報保護目的で、HPの活動報告は利用者の表情が分からないようにするなどであるが発信を続けています。以前のものについては削除している。地域活動は町内草むしりの2回のみである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動への協力ありがとうございます。</li> <li>・コロナの影響で町内の活動も低迷しています。以前のような交流が出来るようになればいいと思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に向けて、認知症や緊急時の対応についての勉強会や講習会を計画し実施する。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	登録者の居住地が、市内様々な所に広がっているため、各居住地の支援センター、民生委員の把握に努め、協力体制を整える。	事業所が位置する地域の民生委員は、今年度から運営推進委員へ協力して頂いている。他の地域については支援センター中心に協力させていただいている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員として、地域の情報の共有をしていきたい。</li> <li>・登録者の隣近所など、協力してもらうことはできないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住地周辺の商店などに情報提供し、本人の生活を支えるための協力体制を構築する。</li> </ul>

E. 運営推進会議を活かした取組み	密にならない空間を確保し、運営推進会議を行っていく。事業所のある地域の民生委員にも会議の参加を呼び掛けていく。	事業所内での会議開催はできていないが、法人のホールが空いている時には、場所を借りて開催することが出来ている。	・会議の中で、地域の情報共有ができる時間を設けていただければ協力できると思います。	・地域の現状について話し合う時間を設けて、高齢者を地域で支えていく体制作りに協力していく。 ・会議の内容は、議事録を通して、全職員が把握できるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	いざという時には、地域の力も必要になるため、参加できなくても、訓練の様子を見ていただけるよう発信していく。	コロナ禍の影響で、消防の立ち合いも行えていない状況であるが、計画的に訓練は行えている。地域の方が足を運ぶことはできていない。	・今年度は参加してみようと思っ ていましたが参加できませんでした。地域の消防団と連携してもいいと思います。	・地域の消防団と情報共有し、緊急時には、お互いに協力できるように努める。